

なからぎ

190号

2010年1月

人生の「主題」とは何か

生命環境科学研究科長 久保康之

3年前の2006年、教務部長のときに「なからぎ」に原稿を寄せた（7月、176号）。今回は2回目である。そのときには建築家、安藤忠雄の「連戦連敗」に学ぶと題して拙稿を用意した。その中で、「現代は主題なき時代である。一見満たされた生活感覚と時代が抱える問題との体感の部分での乖離が主題を見え難くしている。いかに光明を見出すか」という趣旨を述べたが、豊かささえも危ない時代になってしまった。じっくりと本を読む時間がなかなか取れない日常、遠距離の国際便の機中は得がたい読書の時間である。昨年、7月にカナダ、ケベックでの国際学会の行き帰りの機中にて宮本輝の「骸骨ビルの庭」上下巻を読んだ。

物語では戦後の大阪十三の「骸骨ビル」で育った戦災孤児の様々な生き様が示される。いわゆる普通人の生活とは違う感性をもった人たちが逞しく描かれている。庶民の中にいながらも闇の世界との境界にも身をおきながら生きている人たち。ちょっと異質な感性をもっているともいえる人たち。しかし、それが普通の世界であると表現したかったのかもしれない。人間の心の根底的なものを浮き上がらせて振舞わせたかったのであろうと思う。人間の根底にある闇的な部分と光の部分に対比させて生き様というものに迫っていくことを作者はねらったのだと思う。

人間というものをどのように捉えるか。作者はフランクルの「夜と霧」や世阿弥の世界を通じてメッセージを読者に送る。人生は劇のようだとも言い、傍観者にはなるなともいう。存在こそが超越を可能とするものならば、理論や思考がそうした力に成りえないことを示唆しようとしたのかもしれない。時間をかけて成しうる行為、生活というものこそが、変容をもたらす。それを可能にする思想が意味をもつのではという示唆だろうか。また、物語では孤児の中で大学を出て、安定した生活と社会的な立場を獲得したものも触れられてはいるが、物語の中での存在感はない。いわゆる普通の豊かさや幸せといったものが遠くに追いやられてしまうような感触をもたせる。

時代や社会状況を超えてなお求むべき人生の「主題」とは何か。大きなテーマである。物語を進める八木沢省三郎は「60歳を超えてわかることがある。新たな人生を始めよう」と自らに問いかけてこの物語が始まる。さあ、これからだ。

(くぼ やすゆき：生命環境科学研究科教授)

(御紹介の「骸骨ビルの庭 上・下」講談社2009.6刊(請求記号 913.6 || M || 1~2)、「夜と霧 新版」ヴィクトール・E・フランク著 池田香代子訳 みすず書房 2002刊(請求記号 946 || F)は、2階閲覧室入口の新着コーナーに配架していますので、御利用ください。「夜と霧：ドイツ強制収容所の体験記録」霜山徳爾訳 みすず書房 1956刊(請求記号 945.9 || F)もあります。)

ヘロドトスの世界

図書館運営委員 佐藤 健 司

今でも本はよく読みますが、大部分は仕事
の関係の本と戦記ものが中心で皆さんに紹介
できるようなものはほとんどないのが現状で
す。この原稿は、カイロ大学のゲストハウス
で書いています。今年は学会で春に 이스タ
ンブール、アンタルヤ（トルコの地中海沿岸の
小都市）と今（12月）、カイロ、ベンハ（カ
イロから60kmの小都市）を訪れることがで
きました。エジプトの友人が会うたびに
Egypt is a gift of Nile. と口にします。これ
は言うまでもなくギリシャのヘロドトスの言
葉です。私も高校の時、世界史で習ったヘロ
ドトスの「歴史」の訳本を図書館で見つけ興
味本位で読んだことがあります。かなり分厚
く、また一つ一つの文がやたら長く挫折しそ
うになりながら、高2の夏休みに読みました。
ずいぶん昔のことでその後、再び手に取るこ
とも無く忘れかけていた本ですが、記載され
ている地域に来る機会に今年恵まれその内容
を少し思い出しました。

長い文章の多い「歴史」の中で最小の一文
が「エジプトはナイルの賜物」でした。世界
史の授業で習ったのもこの一言でした。今回
のエジプト訪問はベンハ大学での学位審査と
共同研究の打ち合わせのため、約5日間の

滞在中はほとんどカイロ大学とベンハ大学で
過ごしました。余談ですが、こちらの学位審
査では審査員は黒のケープをまとい（ハリー
ポッター？）、生花で飾られた壇上で発表を
聞き、それぞれの評を述べなければなりません。
非常にフォーマルで大変面白かったです。
その中で金曜日の半日だけお休みを頂き、
サッカラのピラミッド（第6王朝、有名なギ
ザのピラミッドより古いもの）を見に行きま
した（こちらの金曜日はお休みです。お許し
ください。午後はインタビュー等の仕事があ
りました）。その神殿の壁画に当時の生活の
様子が記載されていました。大部分が食糧の
生産と踊り等の場面でした。ナイルで魚を取
り（セラピア？が描かれていました。日本で
も回転寿司で活躍中）、作物（小麦？）を刈
り取る様子が描かれていました。また家畜の
飼育、搾乳、屠殺、解体の様子も詳細に描か
れていました。驚いたことにガチョウに豆を
口から押し込み肥育している様子まで表現さ
れていました（フォアグラ！）。これらの壁
画は約5000年前のもので、残っていること自
体驚きですが、基本的に現在に通じる技術で
あることがさらに驚きです。

これらを見ているとヘロドトスの記述が少

しだけよみがえってきました。「エジプトは王を戴かずにはおれない国である」(当時のギリシャは異なる体制)、「農耕が盛んで灌漑が行われている、驚いたことに糞尿を食用にする」(これは肥料にすることを誤解した記載)などです(間違っていたら謝ります)。何も資料を見ずにこの文章を書いていますので、私はヘロドトスが実際にエジプトを訪れて記載したのか、伝聞を記載したのか、文献に基づいて記載したのかを知りませんが、その記載は壁画に書いてあるのと非常に一致していました。実に当時の様子を良く理解して記載してあることに非常に驚きを感じます。ヘロドトスの「歴史」のメインの題材はペロポネソス戦争であり、その舞台のギリシャ、ペルシャの様子も見てきたように記載しています。こちらの世界の記載の精度については門外漢の自分にはわかりませんが、その文章力・構成力には脱帽です。長い文章を挫折しそうにはなりましたが最後まで読むことができたのもその構成力と物語としての面白さにあったと思います。自分はこのような大作を書いたことは無いですが、見習わなければと思います。

またエジプトに関する記載の最初に「エジプトはナイルの賜物である」と要約してみたのは素晴らしいと思います。当たり前のような言葉ですが、後から考えて当たり前と言う

のは易しいですが、最初にその一言にまとめるのは素晴らしい才であると考えます。自分の研究では食品成分の生体への影響を調べていますが、非常に多様な現象の解明が対象となっています。しかし、その中に大きな方向性・普遍性があると思います。それを理解するには自分は浅学に過ぎますが、個々の現象の解明と同時に大きな視野をもって現象を考えなければと思ひ至ります。今回ヘロドトスの言葉を思い出し、またこちらでその言葉が生きていることで大きな視点を持つことの重要性が少しだけ身にしみました。

ベンハとカイロの間はハイウェイで結ばれています。エジプトのハイウェイに2大幹線がありますが、Agricultural Road と Desert Road です。その名の通り灌漑された地域と砂漠の中をハイウェイが通っています。エジプトの友人が If Nile is not present, Egypt disappears. とよく口にします。水の恵みの有無を同時に目にするためよりナイルの恵みを実感できるのだと思います。我が国は、ほぼ全土が水に恵まれているためこの恵みを実感しにくいのかもかもしれません。仕事ができることを当たり前のことであると思わず、感謝の気持ちを持ちたいと思います。

ナイルを見ての雑感です。雑文をお許しください。

(さとう けんじ：生命環境科学研究科教授)

(御紹介の「歴史」上・中・下 松平千秋訳 岩波文庫(請求記号 230.3 || H || 1~3)は、2階閲覧室入口の新着コーナーに配架していますので、御利用ください。)



府大生の読書傾向

今年度前半、2009 年 4 月～11 月の間に府大でよく読まれている図書は、下記の表のとおりです。

2009 年 11 月末現在、9537 タイトル、14000 冊の資料が貸出利用されています。この数字は、史上最高の貸出冊数を記録した昨年同期には残念ながら及びませんが、一昨年同期よりはわずかに上回っています。

ただ、今年の貸出冊数の伸び悩みには、一つ大きな原因が考えられます。それは新図書館システムの不具合です。3 月末にリプレイスした後、7 月上旬まで順調に稼働せず、利用者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。あらためてお詫びいたします。みなさんが新たな気持ちでやる気満々の 4 月、図書館システムは資料の検索もおぼつかない状態でした。なかなか表示されない検索結果に我慢できず、PC から立ち去る学生さんの姿をよく目にしました。そのため、本来ならば 4 月に比べ 5 月は貸出冊数が増加するのですが、今年は減ってしまいました。

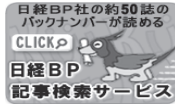
さて、気を取り直して、ベストリーダーのタイトルを見てみましょう。若者に人気の小説が上位に見られるのは例年と同じですが、その中にうれしい発見をしました。本学の先生（名誉教授含む）の著作が複数（14 位、37 位、43 位）入っているのです。100 位までを見るとさらに増えます（90 位『丹後地域史へのいざない』）。また、学習・研究書は、例年自然科学系の入門書の利用が多いですが、幅広い分野の図書が見受けられるように思いました。そして、今年このリストで目に付いたのが、今の社会の中で多くの人に関心を持っている事柄がタイトルに付されている図書です。ベスト 50 には 12 位のアキハバラのみですが、100 位までを見ると、63 位パラサイトシングル、ニート、70 位にスピリチュアル、性同一性障害という言葉が次々に発見し、驚きました。その多くが新入生ゼミナールの課題図書に選定されていますが、利用しているのは新入生だけではありません。新書等で読みやすいことも一因かと思いますが、理由はそれだけではないのではないのでしょうか？

順位	タイトル/著者
1	告白/湊かなえ著
2	重力ビエロ/伊坂幸太郎著
3	流星の絆/東野圭吾著
4	肩ごしの恋人/唯川恵著
5	陽気なギャングが地球を回す/伊坂幸太郎著
5	モダンタイムス/伊坂幸太郎著
7	ガリレオの苦悩/東野圭吾著
8	フィッシュストーリー/伊坂幸太郎著
8	レクサイド/東野圭吾著
8	予知夢/東野圭吾著
8	少女 /湊かなえ著
12	魔王/伊坂幸太郎著
12	若者はなぜ殺すのか：アキハバラ事件が語るもの /芹沢俊介著
14	徳川の国家デザイン (日本の歴史：全集:10)/水本邦彦著
15	単位が取れる線形代数ノート/齋藤寛靖著
16	よくわかる構造力学の基本：建築工学の基礎と解き方 (How-nual図解入門)/松本慎也著
17	アフターダーク/村上春樹著
17	終末のフル/伊坂幸太郎著
17	ゴールデンランバー/伊坂幸太郎著
17	青年のための読書クラブ/桜庭一樹著
17	聖女の救済/東野圭吾著
17	英雄の書 上/宮部みゆき著
17	プリンセス・トヨトミ/万城目学著
24	英雄の書 下/宮部みゆき著
25	どこから行っても遠い町/川上弘美著
26	ドイツ史 新版 (世界各国史:13)/木村靖二編
27	ダイニング・アイ/東野圭吾著
27	有頂天家族/森見登美彦著
27	チーム・パチスタの栄光 上/海堂尊著
27	探偵ガリレオ/東野圭吾著
27	オーデュボンの新り/伊坂幸太郎著

順位	タイトル/著者
27	パラレルワールド・ラブストーリー /東野圭吾 [著]
27	ハリー・ポッターと死の秘宝 下/J.K. ローリング作/松岡佑子訳
27	ディズニーの魔法/有馬哲夫著
27	恋文の技術/森見登美彦著
27	猫を抱いて象と泳ぐ/小川洋子著
37	京都観光学のスズメ/井口和起 [ほか] 著
37	海辺のカフカ 上/村上春樹著
37	別冊図書館戦争 2/有川浩著/徒花スクモイラスト
37	悼む人/天童荒太著
37	ノルウェイの森 下/村上春樹著
42	有機化学演習：基本から大学院入試まで/山本学, 伊与田正彦, 豊田真司著
43	宗教改革と社会/渡邊伸著
43	兵範記 3 (増補史料大成:18-21)/[平信範著]
45	天使と悪魔 上/ダン・ブラウン著/越前敏弥訳
45	風に舞いあがるビニールシート/森絵都著
45	ドロップ/品川ヒロシ著
45	風の歌を聴け /村上春樹[著]
45	西の魔女が死んだ/梨木香歩著
45	絵とき植物生理学入門 改訂2版/山本良一, 櫻井直樹共著
45	私の男/桜庭一樹著
45	チーム・パチスタの栄光 下 /海堂尊著
45	別冊図書館戦争 1/有川浩著/徒花スクモイラスト
45	モノレールねこ/加納朋子著
45	ハリー・ポッターと死の秘宝 上/J.K. ローリング作/松岡佑子訳
45	赤朽葉家の伝説/桜庭一樹著
45	ホルモー六景/万城目学著
45	IQ84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel book 1/村上春樹著
45	IQ84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel book 2/村上春樹著
45	建築MAP京都/ギャラリー・間編
45	貞門俳諧集 1 (古典俳文学大系:第1巻, 第2巻)/中村俊定[ほか]
45	ノルウェイの森 上/村上春樹著

※ 順位欄がグレーに白文字のタイトルは、学生希望図書（注意：学生希望図書でも、図書館費で購入したものや寄贈を受けたものは、このリストでは学生希望図書にはなっていません）

※ 順位欄が網掛けになっているタイトルは、新入生ゼミ課題図書



日経 BP 記事検索サービス大学版の トライアル結果について

10 月 1 日から 11 月 30 日までの 2 カ月間にわたって、トライアルを行いました。

雑誌論文が全文見られるデータベースは、既に EBSCOhost などいくつか導入しています。が、外国語論文のため、研究対象がはっきりしている教員や大学院生、4 回生が主な利用者となっていました。

今回トライアルを行ったデータベースは、和雑誌の全文データベースです。また、その内容は、学術論文から特定分野の最新情報、今すぐ役立つ記事に、ちょっと一休みのエンターテイメント系?のものまで、幅広いものでした。そのため、気軽にアクセスできたのではないかと思います。研究のための閲覧だけでなく、PC のスキルアップや疑問点の解消、就職活動の情報収集等幅広く利用していただいたようです。何回生がアクセスされたかまでは残念ながらわかりかねますが、色々な興味を持って利用されたということは、データが物語っています。学外取寄依頼をされた論文がヒットし、申込者に連絡できた例もありました。

カウンターでは 11 月の半ばに「トライアル、11 月で本当に終わってしまうんですね?」という名残惜しそうな声も寄せられました。そのためか、11 月後半は特定の雑誌ですが、アクセス数が大幅アップしました。

雑誌名	10/1~15	10/16~31	11/1~15	11/16~30	総計
日経ビジネス	13	19	8	4	44
日経情報ストラテジー		2			2
日経レストラン	1		2	3	6
日経デザイン	4	34			38
日経コンピュータ	2	4		1	7
日経エレクトロニクス		1			1
日経パソコン	21	6	6	4	37
日経ものづくり	4	3		4	11
日経コミュニケーション	3	1	1		5
日経エコロジー	8	15	2	11	36
日経トップリーダー	2	2		3	7
日経バイオビジネス	2				2
日経ヘルスケア	2	9	1	18	30
日経ソフトウェア	6	1			7
日経NETWORK	6	2	1		9
日経アーキテクチュア	9	9		4	22
日経食品マーケット	1				1
日経バイト		1			1
日経LINUX	1	5			6
日経コンストラクション	2	3		3	8
日経SYSTEMS	1	1		1	3
日経オートモーティブテクノロジー				3	3
日経ホームビルダー		16			16
日経メディカル	2	2		1	5
日経ビジネスアソシエ	5	46	6	1	58
日経PC21	5		3	274	282
日経WOMAN	1	74		2	77
日経ヘルス	3	12	1	3	19
日経PCビギナーズ	1	1	2	243	247
日経TRENDY	3	33		74	110
日経大人のOFF	5	4		3	12
日経キッズプラス	1	4		2	7
日経マネー	5	2		1	8
日経WinPC		1	4	9	14
日経サイエンス	3				3
日経サイエンス抄録	1				1
エクセル関数大事典100		1			1
合計	123	314	37	672	1146



科学技術振興機構提供 JSTPatMについて

本年 7 月から機関登録して、利用可能になった科学技術関係の特許・文献データベースです。科学技術関係の論文は、一般によく利用されている CiNii(国立情報学研究所の論文情報ナビゲータ)でもかなり見つけることができますが、これを利用すればさらに多くの論文がヒットします。

ある日、河川の水質の調査等について調べている学生さんが「府大にない論文の取寄をしたい」と、カウンターにられました。申込書を書きながら「しばらく図書館の HP を見ないうちに新しくなっていて、まさか JST(科学技術振興機構の略称)のデータベースが検索できると思わなかったのでびっくりしました。」とおっしゃっていました(補足: 従来からフリーアクセスの JST の電子ジャーナルサービスである J-STAGE や Journal Archive は利用可)。

この論文は、CiNii で検索してもヒットせず、JSTPatM でのみ見つけることができました。図書館 HP のお知らせ欄を見てトライされたようで感激です。

URL: <https://ninsho.jst.go.jp/loginIP.html>

利用可能時間: 平日 9:00~17:00

トップページの左上のお名前のところ自分の名前を入れて、ご利用ください(図 参照)。

※図書館 HP の電子ジャーナルデータベースからアクセスできます。アクセスは学内からのみです。



京都府立大学附属図書館施設の整備について

京都府公立大学法人の中期計画では、「教育環境等の充実」の項目において「既存教育施設の点検を行い、狭隘化の解消など教育環境の一層の条件整備と、耐震対応の急がれる老朽化施設の整備が進められるよう、京都府の理解を得ながら計画的に取り組む」と記載されています。附属図書館にとっても、施設整備は喫緊の課題と言えます。

そのような中で、今回、北山地域が京都の文化・環境・学術を世界に発信する拠点地域となるよう、「北山文化環境ゾーン推進委員会」の検討を踏まえ、新総合資料館及び植物園の施設整備が推進されることとなりました。

このうち新総合資料館については、総合資料館と府立大学の機能連携による京都の歴史・文化に関する資料の収集・保存・調査・研究及びその成果の提供と学びの支援を機能イメージとして、今年度、新施設の基本計画（基本機能・構造・配置・面積等）の策定が行われることとなります。

「北山文化環境ゾーン推進委員会」の検討内容を見ると、新総合資料館は府立大学文学部及び附属図書館との合同整備、「国際京都学センター」の設置などの方向性が示されており、附属図書館としては、こうした枠組の中で図書館施設の整備を図り、引き続き大学図書館としての機能を維持・充実させていくことが求められております。

今後、合同整備に関する様々な検討課題の具体化に向けて、図書館運営委員会での議論も踏まえながら、附属図書館としての新たな姿を描いていくこととなります。

狭隘化と老朽化が進行する中で、附属図書館の建替は長年にわたる懸案となっており、今、まさに重要な局面を迎えております。

カレンダー

開館時間等

9:00~ 21:00	9:00~ 16:45	休館 土日祝 年始・年度末
----------------	----------------	---------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2010年1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

★1/19(火) 冬休み長期貸出図書返却期限

2010年2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

★2/2(火)～ 春休み長期貸出開始
返却期限
卒業・修了等予定の方 2/26(金)
上記以外の方 4/12(月)
協定校の方 3/19(金)

2010年3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

★3/23(火)～31(水)
蔵書整理のため、閲覧室休室
閲覧・複写・照会等の業務は停止します。
3F各室の利用は可能です。